

今月の星空

北



川口市立科学館
Kawaguchi Science Museum

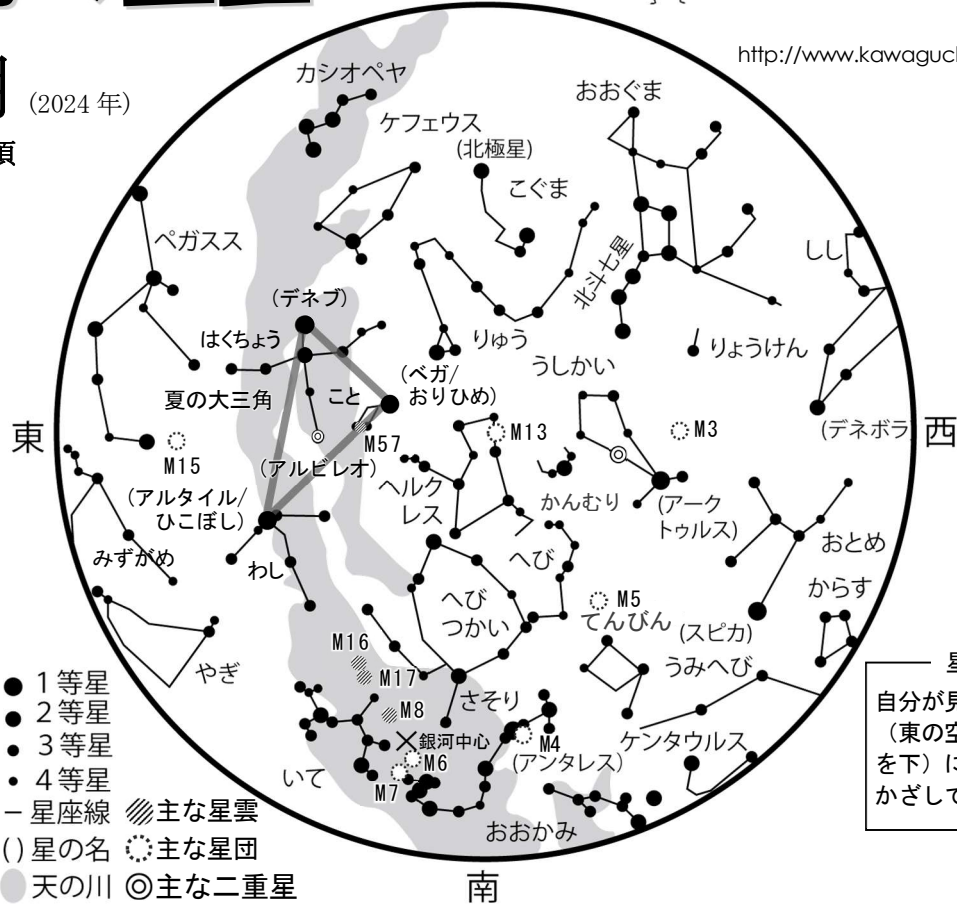


tel 048(262)8431

http://www.kawaguchi.science.museum/

7月 (2024年)

中旬 21 時頃



星図の見方
自分が見ている方角を下
(東の空を見るときは東
を下)にして、頭の上
にかざして見ます。

月 齢 ● 新月 6日、● 上弦 14日、○ 満月 21日、● 下弦 28日

惑星情報 水星 日の入後 西(かに→しし座 0等)※10日~16日頃 木星 日の出前 東(おうし座 -2等)
火星 日の出前 東(おひつじ→おうし座 1等) 土星 真夜中 南東(みずがめ座 1等)

★天の川とともに昇る夏の星座と七夕の星

7日は七夕。東の空に昇った夏の**大三角**の3つの輝星(ベガ、アルタイル、デネブ)の中に、七夕の星があります。見分け方はそう難しくありません。おりひめ星は、三つの中で、**最も明るい「ベガ(0.0等、こと座)」**です。ひこ星は、2番目に明るく、**三角形の最も鋭い角にある「アルタイル(0.8等、わし座)」**と覚えましょう。七夕伝説のとおり、この2つの星を隔てるようにその間を天の川が通ります。

夏の**大三角**は天頂付近を通るため、初冬まで見ごろが続きますが、低空にあるさそり座やいて座は、見ごろが短く夏休み中の観察がおすすめです。両星座とも市街地でも見える明るい星が多く、密に並んでいます。この辺りは天の川の中心付近で、恒星の他、星雲や星団も多く、にぎやかな場所と言えます。

~夏の天体観測のおすすめ3選~

- 「アルビレオ/二重星」…はくちょう座β星。小口径の望遠鏡でも、オレンジ色の3等星と青白い5等星に分かれて見える色の対比の美しい二重星。
- 「M13/球状星団」…ヘルクレス座にある北天最大の球状星団。地球外生命に向けた電波信号「アレシボ・メッセージ」(1974年)の送信先としても有名。
- 「M8/干潟星雲」(右図)…冬のオリオン大星雲と並び称される、夏を代表する散光星雲。大型で明るいいため空の暗い場所では肉眼でも見えるほど。



提供: NOIRLab/NSF/AURA
M8/干潟星雲 (いて座)

ワンポイント~月の暦を知って、星空と月を上手に観察しよう~

星空観察と月観測
のおすすめ度

- 新月…ほぼ一晩中月明かりの影響がない頃。天の川を見るならこの頃がおすすめ。 ⇒ 星空◎ 月×
- 上弦…この頃、月は日没時に南の空に見え、夜遅い時間に沈む。望遠鏡ではクレーターがよくわかる。夜中以降は星空観察に月明かりの影響なし。 ⇒ 星空○ 月◎
- 満月…月の出が日没頃で、夜中に南中する。望遠鏡では月の光条(クレーターの周囲にある筋模様)が見える。ほぼ一晩中、星空観察に月明かりの影響あり。 ⇒ 星空△ 月○
- 下弦…月の出が夜中になる頃。夜のはじめ頃は星空観察に月明かりの影響なし。 ⇒ 星空○ 月△

※参考 その日の星空や月の情報はこちら→「国立天文台 暦計算室」<https://eco.mtk.nao.ac.jp/koyomi/>